



8

2026

社協シンボルマーク
(社の字を図案化したものです)

ぬくもり

第47号

発行／社会福祉法人 知内町社会福祉協議会

menu

- 会長あいさつ
- 令和7年度
事業実施報告
- 令和7年度
一般会計決算報告
- 令和8年度事業計画
- 令和8年度
資金収支予算
etc.



写真：いきいきサロン「ひだまり（渡島知内）」

お盆とは

お盆は、先祖の霊を家に迎えて供養しながら、「お陰さまで元気で暮らしています」と感謝する行事です。仏教の「盂蘭盆会（うらぼんえ）」と日本古来の先祖信仰が結び付き、日本独自のお盆が形成されました。

旧暦のころは7月15日に先祖の霊が帰ってくるとされていました。今でも7月にお盆を行う地域がありますが、新暦では8月半ばにあたるため、昔の季節感そのままにできるよう、多くの地域で月遅れの8月15日を中心に行っています。8月にお盆休みがあり、お盆の帰省ラッシュになるのは、みんながお盆に里帰りをするからです。



地域福祉活動の推進について

社会福祉法人 知内町社会福祉協議会

会 長 藤 谷 利 弘



町民の皆様におかれましては、日頃より当社協に対し、ご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

近年における福祉を取り巻く環境は、少子高齢化の進行や人口減少、社会経済状況や家族のあり方が多様化し、夫婦高齢者世帯や寝たきり・認知症の方や障がい者さらには要援護者の孤独・孤立の問題などさまざまな生活課題が加速度的に顕在化し、物価高などの影響により、私たちの日々の暮らしにも大きな影響を与えています。

こうした中で、福祉のまちづくりの指針となる地域福祉実践計画も新たに令和8年度からの5年間を計画期間とする「第7期地域福祉実践計画」（令和8年度～令和12年度 5カ年計画）を策定いたしました。

本計画では、第6期の基本目標「ともに支え合い笑顔で安心して暮らせる福祉のまちづくり」を踏襲し、地域共生社会の実現に向けて、これまでと同様に当協議会、町内会、地区民生委員や関係機関、団体の協力のもと、「いきいきサロン活動」はじめ「訪問安心見守り活動」や「福祉有償ボランティア活動」など各種支え合い活動を展開していきたいと思ひます。

さて、地球温暖化が問題視されていますが、近年、全国各地で集中豪雨等による水害が頻発しています。同じ場所に停滞して大雨をもたらす線状降水帯の発生で、短時間で河川が増水し、氾濫するなど甚大な被害が発生しています。線状降水帯の発生は、災害の危険性が急激に高まることから、情報が発表された場合は、その時の状況に応じて適切な防災行動をとることが重要であり、少しでも危険を感じた場合には、自ら安全な場所へ避難することが、肝要かと思ひます。

また、全国各地で猛暑による熱中症のリスクが高まっています。熱中症は気温が高くなることなどで体内に熱がこもって起こりますが、熱中症対策としては、こまめに水分・塩分の補給を行うなど予防行動をとることであり、家族や周囲の人々による見守り・声かけ等を行っていくことも重要です。

昨年暮れから、これまでに全国で地震が多発しております。北海道でも十勝沖から根室沖の千島海溝沿いや三陸沖から日高沖の日本海溝沿いの巨大地震の発生が予想されているところであり「いつどこで起きるのか」と不安を感じている方も多いのではないのでしょうか。

当社協としても、現在展開している「自主防災活動」において、各町内会がこれまで実施してきた避難訓練や避難所の運営等々について、さらに町や各町内会と連携し、積極的に支援して参ります。

今後とも、地域福祉の推進役として、皆様方に理解され支持されるよう役職員が一体となって、事業運営に邁進して参りたいと思ひますので、町民の皆様より一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。



◆◆◆ 令和7年度 事業実施報告 ◆◆◆

1. 法人運営部門

(1) 地域福祉活動の総合的推進

1) 法人の運営

①正・副会長会議の開催	3回	②理事会の開催	4回
③評議員会の開催	3回	④監査会の実施	3回
⑤評議員・選任解任委員会	3回		

2) 福祉活動の総合的推進

①各種大会・研修会等への参加 4回

2. 地域福祉活動推進部門

(1) 安心・安全福祉のまちづくり機能の充実

1) 地域ネットワーク機能の整備推進

①福祉有償ボランティアの会の運営支援及び設置支援 5町内会

2) 福祉課題の把握

①各福祉団体・関係機関との情報交換の実施 28件

3) 広報、共同募金運動の推進

①社協だより「ぬくもり」 年2回発行

②共同募金運動 募金総額 1,015,467円

(この内約7割が地域福祉活動資金として配分されます)

(2) 地域福祉活動機能の整備充実

1) 社協ささえ愛支援事業の推進

①いきいきサロン開催事業(町委託)

・高齢者・障がい者を主な対象とし、閉じこもりや孤立感の解消のため地域住民が主体となり、地域でのふれあい・仲間づくり等交流の場として開催。

12町内会 合わせて66回開催 1,170人参加
(参加者 1名 300円 1回 定額 5,000円 助成)

②シニア有償ボランティア事業

5町内会

・高齢化社会における新たな生きがいづくりと各町内会会員それぞれが今日まで貯えた経験や技術を生かしたボランティア活動。

5町内会実施 (1団体 50,000円 助成)
(利用者からの謝金 基本1回又は1時間500円以内)

③有償ボランティア事業(除雪サービス)(町委託)

・独居老人世帯等の冬期間における玄関前の通路等を確保するための除雪支援。

対象者 73人 (1人当謝金 月額 10,000円×3ヶ月)

除雪機燃料費 定額1台 10,000円 助成)

④自主防災活動事業

・全国各地で多発する災害をふまえて、日常的な防災への取組を強化し、各町内会において、災害から身を守るため自主的な防災活動を実施。

地域防災組織活動事業(町委託) 7町内会実施 (1団体 50,000円 助成)

炊き出し訓練事業 6町内会 (1回15,000円(上限)・年2回まで助成)

⑤子ども安全見守り活動事業

・小・中学生の通学路で、登下校時の不審者や交通事故対策のため見守りを実施。

3 町内会実施 (1 団体 30,000円 助成)

(3) 高齢者等福祉活動の推進

①知内町老人クラブ連合会・知内町身体障害者福祉協会・知内町白ゆりの会
松前地区保護司会知内支部への運営支援 (助成)

(4) 社協ボランティア機能の充実

①婦人赤十字奉仕団・ボランティア連絡協議会・知内高校ボランティア部への運営支援 (助成)

3. 福祉サービス利用支援部門

(1) 地域包括支援センターの窓口機関の機能充実

①地域福祉権利擁護事業の周知・推進生活福祉資金貸付事業の周知

②総合相談事業 (35件) (町委託)

③各福祉サービス事業者との情報交換及び研修

(2) 生活福祉資金等貸付事業の推進

①他の貸付制度が利用できない低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者世帯に対し、経済的自立と
生活の安定を目指すことを目的とした相談貸付支援。 (北海道社会福祉協議会)

②生活応急資金の相談貸付支援 (知内町社会福祉協議会)

(3) 地域支援事業の推進

①高齢者等訪問見守り活動事業

一人暮らしの高齢者や障害者宅を定期的に訪問し、安否確認を行う。

対象者 15人 (1 人 1 回150円 助成)

②外出支援サービス事業 (町委託)

公共交通機関を利用する事が困難な介護認定者及び身体障害者を対象として通院、買い物、金融・公共機関等への移動支援を行っている。 利用者 延べ237人 利用回数 延べ635回

③家族介護用品支給事業 5 件

④福祉灯油購入費助成事業 (町委託)

高齢者世帯、障がい者世帯、ひとり親世帯の灯油購入に対しての助成 (1 世帯 15,000円)

利用世帯数 高齢者世帯 250 障がい者世帯 12 ひとり親世帯 12

4. 在宅福祉サービス部門

(1) 居宅介護支援事業の充実

①可能な限り居宅において自立した生活ができるように、利用者の選択により効果的にサービス
が提供できるよう努める。 利用者数 延べ248人

(2) 訪問介護 (ホームヘルプサービス) 事業の充実

①入浴、排泄、食事、通院、買物など生活全般にわたり、きめ細やかなサービスの提供に努める。

要支援1～2 利用者 延べ213人 利用回数 延べ 989回

要介護1～5 利用者 延べ272人 利用回数 延べ2,382回

(3) 障害者自立支援事業の推進

①身体障害者、知的障害者、児童、精神障害者に対し、決め細やかなサービスに努めると共に、
自立誘導への視点で対応する。 利用者 延べ0人 利用回数 延べ0回

◆◆◆ 令和7年度 一般会計決算報告 ◆◆◆

去る、令和8年6月8日に開催された理事会及び令和8年6月26日に開催された評議員会において令和7年度の決算が承認されました。

今後も地域福祉増進の中核団体として、その役割を果たすため日々努力して参りますので、町民皆様のご理解とご協力をお願い致します。

貸 借 対 照 表

単位：円

資 産 の 部	
科 目	金 額
流 動 資 産	25,185,951
現金預貯金	17,287,805
事業未収金	7,898,146
固 定 資 産	45,718,196
基本財産	1,000,000
その他の固定資産	44,718,196
車両運搬具	1,209,357
器具及び備品	331,362
退職給付引当金資産	5,022,930
人件費積立資産	26,660,418
備品等購入積立預金	7,480,000
ささえ愛活動事業積立預金	3,861,129
貸付事業貸付金	153,000
資 産 の 部 合 計	70,904,147

単位：円

負 債 の 部	
科 目	金 額
流 動 負 債	3,400,554
事業未払金	1,393,270
預り金	2,807
職員預り金	0
賞与引当金	2,004,477
固 定 負 債	5,022,930
退職給与引当金	5,022,930
負 債 の 部 合 計	8,423,484
純 資 産 の 部	
基 本 金	1,000,000
国庫補助金等特別積立金	1,209,353
その他の積立金	38,001,547
人件費積立金	26,660,418
備品等購入積立金	7,480,000
ささえ愛活動事業積立金	3,861,129
次期繰越活動収支差額	22,269,763
純 資 産 の 部 合 計	62,480,663
負債及び純資産の部合計	70,904,147



資 金 収 支 決 算

(収入)

単位：円

科 目	金 額
会 費 収 入	368,700
分担金収入	1,800
寄附金収入	814,289
経常経費補助金収入	8,338,934
受託金収入	21,109,331
貸付事業収入	45,000
介護保険事業収入	15,795,707
障害福祉サービス等事業収入	17,000
受取利息配当金収入	51,714
その他の収入	36,825
施設整備等補助金収入	0
基金積立資産取崩収入	0
積立資産取崩収入	0
合 計	46,579,300

(支出)

単位：円

科 目	金 額
人 件 費 支 出	34,567,710
事業費支出	9,192,574
事務費支出	4,323,988
貸付事業支出	0
共同募金配分金事業費	782,296
助成金支出	1,122,100
固定資産取得支出	231,000
積立資産支出	612,420
合 計	50,832,088

(収入) - (支出)	△4,252,788
前期末支払資金残高	28,042,662
当期末支払資金残高	23,789,874



～*～*～ 令和8年度 事業計画 ～*～*～

1. 法人運営部門

地域福祉活動の総合的推進のための理事会、評議員会等の開催のほか、経理規程に伴う会計事務を適正に処理し、「社会福祉充実計画」に沿った取組みを進めてまいります。

2. 地域福祉活動推進部門

地域で発生している様々な福祉課題解決のため、住民参加や協働による福祉活動の支援、福祉のまちづくりのために、地域福祉活動推進の中核的な役割を担い、次の事業を実施してまいります。

(1) 福祉のまちづくり機能の充実

- ア) 町内会役員・地域有識者等による「地域福祉懇談会」の開催
- イ) 福祉課題の把握、分析から、新たな地域福祉活動の推進
- ウ) 広報、共同募金運動の推進

(2) 地域福祉活動機能の整備充実

- ア) 社協安全・安心ささえ愛活動支援事業の推進
 - ・いきいきサロン等地域住民の生きがいづくりの推進
 - ・まちカフェ「ころない」運営の充実
 - ・自主防災組織運営支援の推進
 - ・要援護者の孤独・孤立を防ぐための訪問安心見守り事業の推進
 - ・福祉有償ボランティアの会運営支援及び新規設立の推進
 - ・子ども見守り隊活動支援

(3) 在宅高齢者等福祉活動の推進

- ア) 高齢者、障害者、母子福祉活動の推進

(4) 当事者組織（団体）等への支援

- ア) 知内町老人クラブ連合会
- イ) 知内町白ゆりの会
- ウ) 知内町婦人赤十字奉仕団

(5) 社協ボランティアセンター機能の充実

- ア) 日常生活を送るための福祉ニーズに対し住民参加による支援の仕組みづくり等、行政や関係機関との連携・体制整備の推進
- イ) ボランティアセンター運営委員会及び各ボランティア団体への支援活動の推進
- ウ) 災害ボランティアセンターの運営等の整備推進

3. 福祉サービス利用支援部門

高齢者や障害者等の福祉サービス利用者や住民

の立場に立ち、福祉サービスの利用、地域生活の支援に向けた相談支援活動、地域全体の介護サービスや福祉サービスの情報提供、連絡調整を行うため次の事業に取り組んでまいります。

- ア) 福祉サービス利用援助事業の推進
- イ) 地域包括支援センターの窓口（ランチ）機関としての相談活動の推進
- ウ) 日常生活自立支援事業の推進
- エ) 生活困窮自立支援事業の推進
- オ) 成年後見人制度（市民）等の体制整備
- カ) 介護予防、地域支援事業の推進
- キ) 総合相談生活支援事業の推進
- ク) 生活福祉資金貸付事業
- ケ) 第三者苦情処理委員会開催、運営
- コ) 虐待防止委員会の開催、運営
- サ) 各福祉サービス事業者等との研修事業
- シ) 生活支援コーディネーターの活動推進
- ス) 残りの人生をよりよく生きるための終活活動の推進

4. 在宅福祉サービス部門

介護保険や障害者自立支援法等による事業展開をする中で、地域の福祉課題に即応した質の高いサービスを提供し、地域の福祉サービスや介護サービスの水準の向上に努めます。また、利用者の立場に立ったサービス、低所得者や困難ケースなどへの対応にも取り組んでまいります。

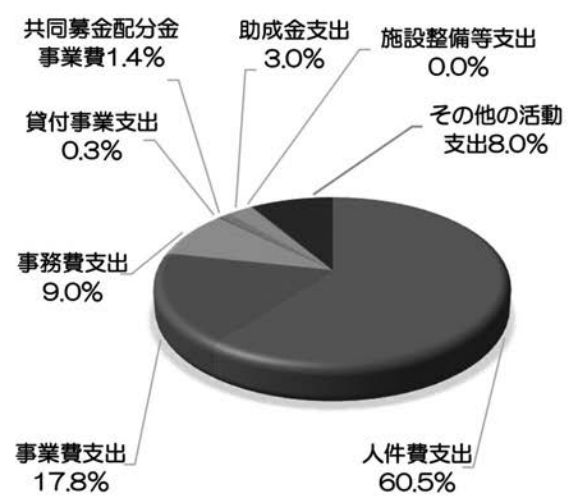
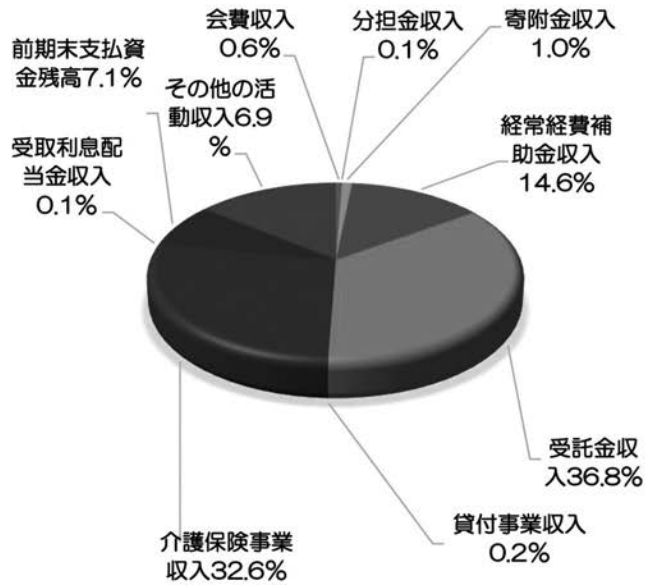
さらに、虐待防止や身体拘束等の適正化及び苦情解決における第三者委員会からの提言、第三者評価等の意見に積極的に耳を傾け、利用者保護への対応など運営基準や各種法令を遵守し、信頼される公共性の高い運営に努め、次の事業を実施してまいります。

- (1) 居宅介護支援事業（ケアプラン等）の充実
 - ア) ケアマネージャー等資質向上の研修
- (2) ホームヘルプサービス事業の充実
 - ア) 要介護ホームヘルプサービス事業
 - イ) 障害者自立支援法に係るホームヘルプサービス事業
 - ウ) 外出支援（福祉有償運送）事業等
 - エ) ホームヘルパー資質向上のための研修
 - オ) 人材育成支援のため各種資格取得を誘導し、ホームヘルパーの資質向上
 - カ) 介護職員の人材確保と他の業種との格差解消に努め、処遇改善制度の活用

～*～*～ 令和8年度 資金収支予算 ～*～*～

収入 計 61,349千円

支出 計 61,349千円



(単位：千円)

勘 定 科 目		合 計	法人運営事業	介 護 事 業
事業活動による収入	会 費 収 入	368	368	0
	分 担 金 収 入	3	3	0
	寄 附 金 収 入	600	600	0
	経 常 経 費 補 助 金 収 入	8,267	8,247	20
	受 託 金 収 入	21,740	17,548	4,192
	貸 付 事 業 収 入	50	50	0
	介 護 保 険 事 業 収 入	16,860	0	16,860
	障害福祉サービス等事業収入	0	0	0
	受 取 利 息 配 当 金 収 入	4	1	3
	事業活動収入計 (1)	47,892	26,817	21,075
事業活動による支出	人 件 費 支 出	37,130	13,520	23,610
	事 業 費 支 出	10,937	8,191	2,746
	事 務 費 支 出	5,487	3,721	1,766
	貸 付 事 業 支 出	100	100	0
	共 同 募 金 配 分 金 事 業 費	680	680	0
	助 成 金 支 出	1,700	1,700	0
	事業活動支出計 (2)	56,034	27,912	28,122
事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)		-8,142	-1,095	-7,047
施設整備等による収支	施 設 整 備 等 収 入 (4)	0	0	0
	施 設 整 備 等 支 出 (5)	0	0	0
	施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)	0	0	0
その他の活動による収支	そ の 他 の 活 動 収 入 (7)	8,672	360	8,312
	そ の 他 の 活 動 支 出 (8)	5,315	286	5,029
	その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)	3,357	74	3,283
当期資金収支差額合計(10) = (3) + (6) + (9)		-4,785	-1,021	-3,764
前 期 未 支 払 資 金 残 高 (11)		4,785	1,021	3,764
当 期 未 支 払 資 金 残 高 (10) + (11)		0	0	0

知内町身体障害者福祉協会活動休止について

日ごろより当協会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

このたび当協会は、会員数の減少および高齢化などにより、令和8年3月末をもちまして、当面の間、活動を休止することといたしました。長年にわたり、行事や研修、交流活動などを続けてこられましたのは、ひとえに会員及びご家族の皆さま、関係機関や地域の皆さまのおかげと、心より感謝申し上げます。会員・関係者の皆さまにはご心配とご迷惑をおかけいたしますが、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

なお、今後の再開につきましては、状況が整いましたら、あらためてご報告させていただきます。

防 災 訓 練

日頃から防災意識を高めるため、全13町内会に自主組織が立ち上がり、防災避難訓練、炊き出し訓練、ハザードマップ等を活用し、避難経路や避難所の運営などの活動を実施しています。今回、5月24日にきらく町内会で実施した防災訓練に、インドネシアから来ている外国人技能実習生も参加し行われました。



「きらく町内会」
(AEDを活用した救急救命訓練)

いきいきサロン

高齢者等の地域との交わりや閉じこもりの防止等を狙いとしてサロンスタッフが中心となり町内会館等で開催しています。地区によりさまざまですが、参加対象者が気軽に参加できるよう支援して参ります。また、移動が困難な方については、地区のサロンスタッフが車で送迎を行っているところもありますので、サロンスタッフへご相談下さい。



いきいきサロン「ひだまり」(渡島知内)
(函館中央署木古内分庁舎署員による防犯講和)

社協だより「ぬくもり」 令和8年8月号 発行／社会福祉法人 知内町社会福祉協議会

〒049-1103 上磯郡知内町字重内21-1 知内町民センター内

TEL (01392) 5-4071 FAX (01392) 5-7441